

平成24年3月16日

四国地方整備局

土佐国道事務所

「命の道」着実な効果

～四国横断自動車道(須崎西IC～中土佐IC)開通1年後の地域に与えた効果～

平成23年3月5日(土)に、四国横断自動車道(須崎西IC～中土佐IC)が開通して1年が経ちました。

この度、沿線住民・各種施設へのヒアリング及びアンケート調査・交通量調査を実施しましたので、その結果を報告致します。

地域に与えた効果

- ・中土佐町の観光施設の来訪者が、約2割増加
- ・周辺5市町(須崎市、中土佐町、四万十町、津野町、梶原町)の商工会が連携し、地域間での周遊観光を促進

医療サービスの向上

- ・搬送時間の短縮に伴い、効果的な早期の手当が可能になり、その後の回復に大きく影響
- ・線形不良箇所が無くなり、搬送患者の負担が軽減するとともに、搬送中に実施する心臓マッサージなどの処置も確実に実施可能

快適性・安全性が向上

- ・通過交通と生活交通が分離されたことで、無理な追い越しなど危険な走行がなくなり交通事故が大幅に減少(開通前:13件/年→開通後:3件/10ヶ月)
- ・輸送中の商品の破損もなく、安心して運ぶことができ、商品価値を確保
- ・ドライバーの約8割が運転による負担の軽減を実感

【交通量】

- ・開通1年後の四国横断自動車道の交通量は、11,700台/日(平日)、13,300台/日(休日)

土佐国道事務所では、平成24年度中に予定している延伸区間(中土佐IC～四万十町中央IC)の開通及びミッシングリンクの解消に向けて事業を推進しております。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」及び「NO. 6防災力向上プロジェクト」及び「四国地震防災基本戦略」の取組に関連します。

お問い合わせ先 (〇主な問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 電話 088-884-0359(代表)

副所長(改築) かみおき 上沖 かつのり 勝則 (内線)204

〇計画課長 たけしま 竹島 だいすけ 大祐 (内線)261

四国横断自動車道開通による地域に与えた効果①

- ・ 中土佐町の観光施設の来客数が約2割増加（地元観光施設の声より）
- ・ 四国横断自動車道開通で、高速道路ネットワークが延伸され観光地までのアクセス性が向上（来訪者の声より）
- ・ 中土佐町の観光施設への来訪者のうち、約8割が四国横断自動車道を利用（来訪者の声より）

◆地元観光施設の声

- ・ 龍馬ブームで、一昨年はお客様が2割程度増えましたが、昨年は、四国横断自動車道の開通もあり、更に日帰りのお客様（レストラン利用者）が約2割ほど増えました。



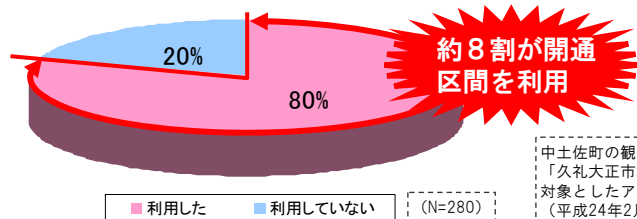
◆中土佐商工会議所の声

- ・ 今後の高速道路の延伸により、東方面（高知市方面）だけでなく、西方面からの来客の増加に期待している。

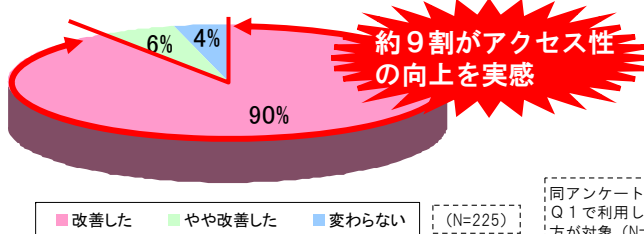


観光施設への来訪者の声

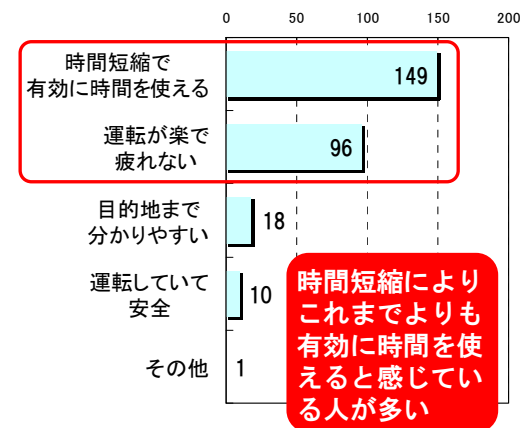
Q 1 : こちらの観光施設に来るのに須崎西IC～中土佐ICを利用しましたか？



Q 2 : 開通前に比べてアクセス性が改善し、観光地に来やすくなったと感じますか？



Q 3 : 開通によるアクセス性の改善でどのようなことがよくなりましたか？



同アンケート調査
Q 2 でアクセス性が改善したと回答した方が対象（N=274：複数回答可）

(N=274：複数回答可)

四国横断自動車道開通による地域に与えた効果②

- ・ 四国横断自動車道の延伸により、中土佐町から高知市内まで高規格道路が直結
- ・ 周辺5市町の商工会が連携し、地域間での周遊観光を促進

隣接市町の連携による取組が開始

◆須崎商工会議所、 中土佐商工会議所の声

- ・ 高規格道路の延伸により、隣接する市町の往来が容易になることが予想される。
- ・ そのメリットに着目し、隣接する5市町（須崎市、津野町、檮原町、四万十町、中土佐町）の商工会が連携し、各市町の特徴ある観光資源を相互に紹介することで、観光客が周遊できるような広域的な観光地発足に向けた会議を開催している。



広域観光連携への取り組みイメージ



<四国カルスト>

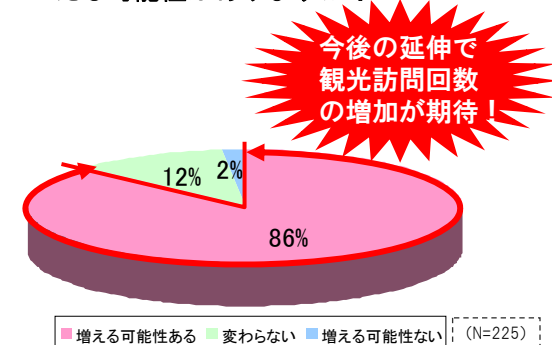


<海洋堂ホビー館>



移動環境の向上で交流機会が増加

Q 4 : 今後の高速道路の延伸により高知県西部方面への観光のための訪問回数が増える可能性はありますか？



同アンケート調査 Q 2 に回答した方が対象 (N=225)

四国横断自動車道開通による医療サービスの向上

- ・ 線形不良箇所の解消により搬送時の負担が軽減、搬送時間の短縮により早期の手当が可能に
- ・ 管外への救急搬送も増加しており、長い距離を早く、確実に搬送することが必要
- ・ 高知県の第三次救急医療施設は全て高知市内となっており、高知市までのアクセスが改善

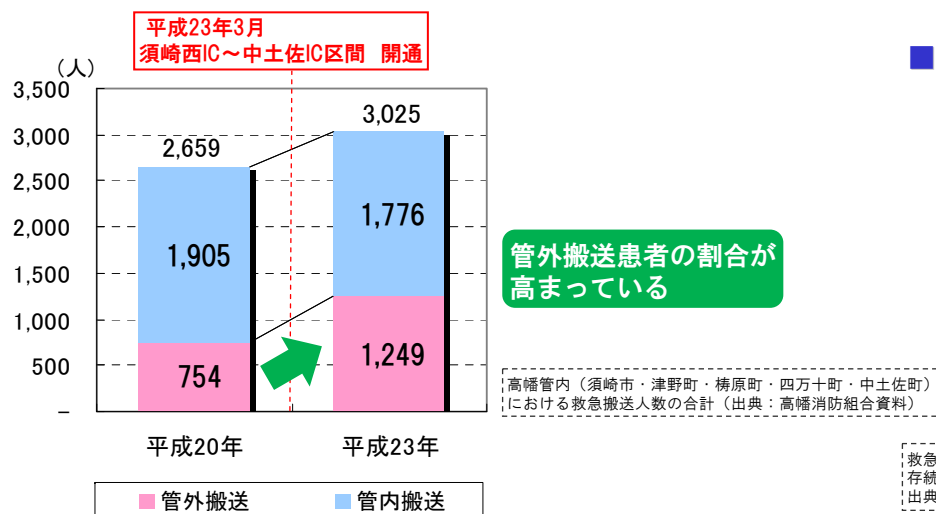
救急医療の現場で効果を実感

◆救急隊の声



- ・ 搬送時間の短縮に伴い、効果的な早期の手当が可能になり、循環器系疾患や脳疾患など、その後の回復に大きく影響を与えるケースが増加。
- ・ 搬送患者への負担が軽減されるとともに、救急隊員による搬送中の救急車内での応急処置（心臓マッサージ）を確実に行うことができるようになるなど、救急搬送における医療環境は、確実に改善した。

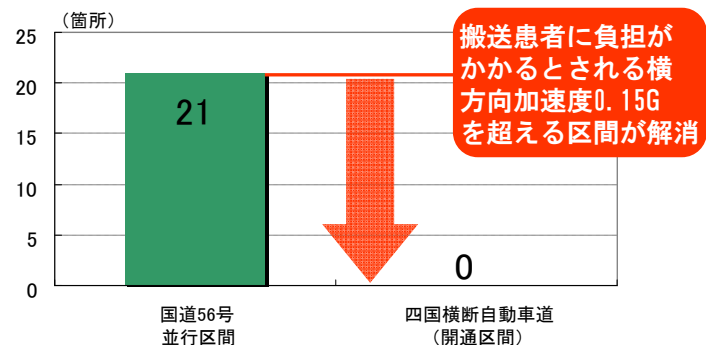
■開通区間周辺地域の救急搬送実績



■開通による所要時間の変化



■開通による線形不良箇所の解消



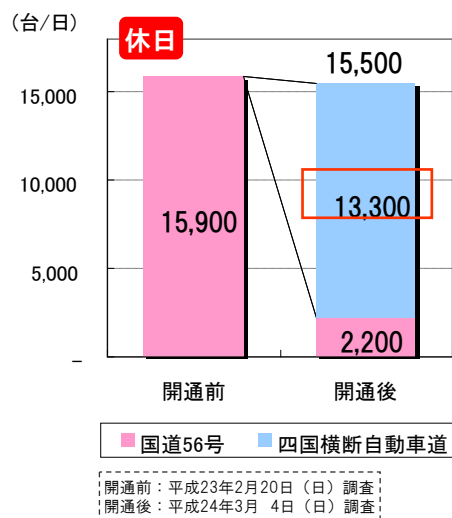
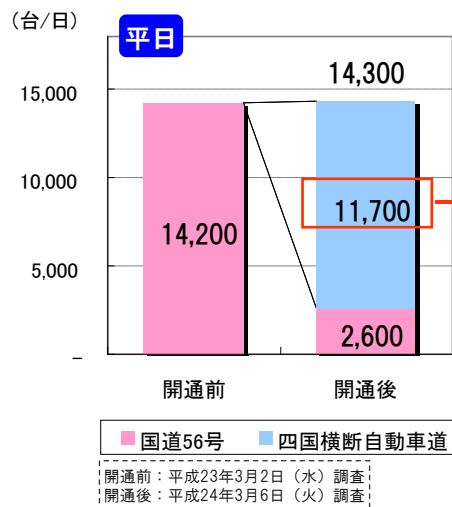
救急搬送時は、横方向加速度による血圧の変動幅を抑えることが生命存続において重要とされている。（目安は横方向加速度0.15G以上）
出典：東北地方整備局 三陸国道事務所資料

0.15Gとは、時速50kmで走行する場合に曲線半径150m以下のカーブを走行する際に生じる横方向の加速度

四国横断自動車道開通による快適性・安全性の向上①

- ・無理な追い越しなど危険な走行がなくなり、国道56号の交通事故が大幅に減少【13(件/年)→3(件/10ヶ月)】
- ・輸送中の商品の破損もなく、安心して運ぶことが可能になり商品価値を確保

■開通前後の断面交通量の変化



◆高知県須崎警察署の声



・須崎西IC～中土佐ICの開通で、先を急ぐ通過交通と、地元の生活交通が分離されたようだ。そのおかげで、無理な追い越しなど、危険な走行がなくなり、国道56号が安全に利用されている。

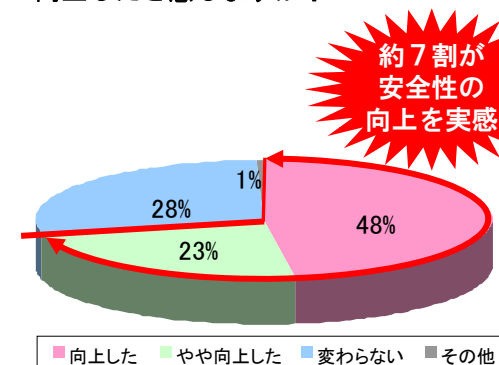
事故件数は国道56号の並行区間で発生した死傷事故を対象
開通前(平成18年～平成22年の平均) / 開通後(平成23年の10ヶ月(3月～12月))



◆中土佐町にある農産物加工販売施設の声

・高速道路は走りやすく荷痛みもほとんどのないので、以前に比べて、輸送中の商品(ケーキ、いちご)の破損がなく、安心して運ぶことができるようになり、とても助かっている。

Q: 開通により並行する国道56号を徒歩や自転車で利用する際の安全性が向上したと感じますか?



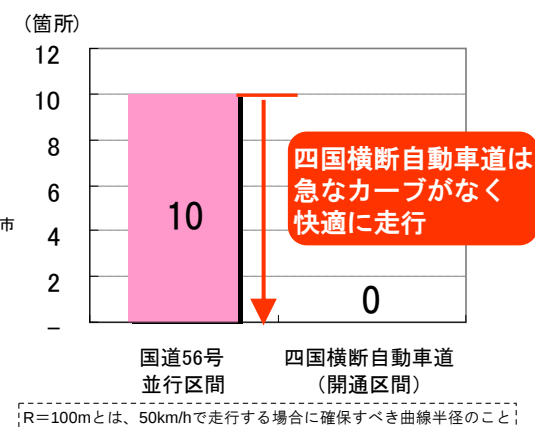
周辺に住む住民へのアンケート調査(N=180)
(平成24年2月19日、21日に実施)

四国横断自動車道開通による快適性・安全性の向上②

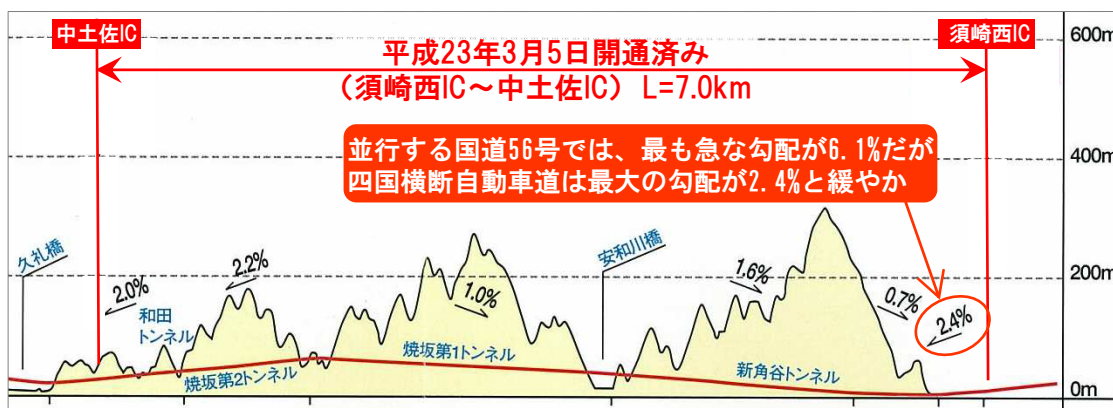
- ・ 国道56号は海岸部や山地部に位置しているため曲線が多く、勾配も急な道路
- ・ ドライバーの約8割が、運転負担の軽減を実感
- ・ 四国横断自動車道は国道56号のような急なカーブもなく、勾配も緩いため走行しやすい道路



■開通区間と並行する国道56号の
R=100m以下の曲線の箇所数



■四国横断自動車道(須崎西IC～中土佐IC)の勾配



Q：並行する国道56号に比べ、四国横断自動車道を走行することで運転の負担は少なくなりましたか？

